

令和4年4月22日  
消 防 庁

## 「令和3年度 救急業務のあり方に関する検討会 報告書」の公表

高齢化の進展や生活様式の変化等を背景として、救急需要が多様化する中、いかにして救急業務を安定的かつ持続的に提供するかは、救急業務における主要な課題となっています。こうした課題に対応するため、令和3年度の救急業務のあり方に関する検討会においては、「救急業務の円滑な実施と質の向上」、「救急車の適正利用の推進」等を目的として、「救急業務におけるメディカルコントロール体制のあり方」、「蘇生ガイドライン改定への対応」、「ICT技術を活用した救急業務の高度化」、「救急安心センター事業（#7119）の全国展開に向けた検討」の4項目について検討を行いました。

この度、検討結果を報告書として取りまとめましたので公表します。

## ○ 報告書の概要（別添参照）

## (1) 救急業務におけるメディカルコントロール（MC）体制のあり方

救急業務におけるMC体制のPDCAの取組の推進及び救急救命士等の教育体制に関する検討を行いました。

## (2) 蘇生ガイドライン改訂への対応

「JRC 蘇生ガイドライン2020」の公開及び「救急蘇生法の指針2020（市民用）（従事者用）」の改訂に伴い周知等が必要となる事項について検討するとともに、応急手当の普及啓発の促進のために必要な検討を行いました。

## (3) ICT技術を活用した救急業務の高度化

医療機関との連携強化に向けた救急業務における「5Gを活用した映像伝送」及び救急業務の高度化・簡素化に向けた「音声認識を活用した自動文字起し」について、実証実験を行い、それぞれの有用性等について検討を行いました。

## (4) 救急安心センター事業（#7119）の全国展開に向けた検討

「事業導入・運営の手引き／マニュアル」及び「事業を外部委託する際に活用可能な標準的な仕様書（例）」を作成しました。

## ○ 報告書の全文は、消防庁ホームページに掲載しています。

・ 報告書の全文（URL：[https://www.fdma.go.jp/singi\\_kento/kento/post-93.html](https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/post-93.html)）



## 【連絡先】 消防庁救急企画室

担当：岩田課長補佐・岡澤課長補佐・

小味課長補佐・小塩救急専門官

電話：03-5253-7529（直通）

委員名簿

（五十音順） ◎印は座長

◎浅利 靖	（北里大学医学部救命救急医学主任教授）	田邊 晴山	（救急救命東京研修所教授）
◎有賀 徹	（独立行政法人 労働者健康安全機構理事長）	長島 公之	（公益社団法人 日本医師会常任理事）
岩田 太	（神奈川大学法学部教授）	野村 さちい	（一般社団法人「つながる ひろがる 子どもの救急」代表理事）
織田 順	（大阪大学大学院医学系研究科救急医学教授）	長谷川 宏哉	（山形県防災くらし安心部消防救急課長）
門倉 徹	（東京消防庁救急部長）	間藤 卓	（自治医科大学救急医学講座教授）
元佐 龍	（兵庫県健康福祉部健康局医務課長）	村上 典章	（高槻市消防本部救急課課長補佐）
坂本 哲也	（帝京大学医学部救急医学講座教授）	山口 芳裕	（杏林大学医学部救急医学教授）
島崎 修次	（国士舘大学防災・救急救助総合研究所長）	山本 保博	（一般財団法人 救急振興財団会長）
嶋津 岳士	（地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪急性期・総合医療センター総長）	横田 順一朗	（地方独立行政法人 堺市立病院機構副理事長）
高橋 正裕	（仙台市消防局警防部救急担当部長）	横田 裕行	（日本体育大学大学院保健医療学研究科長、同教授）
（オブザーバー）			
鈴木 健彦	（厚生労働省医政局地域医療計画課長）	鷺見 学	（厚生労働省医政局地域医療計画課長） ※令和3年9月14日より

回数	開催日	主な議題
第1回	令和3年6月15日（火）	・今年度の検討の進め方
第2回	令和3年11月30日（火）	・検討課題の検討状況（中間報告）
第3回	令和4年2月28日（月）	・救急業務のあり方に関する検討会報告書（案）

令和3年度 救急業務のあり方に関する検討会報告書（概要）

救急業務の円滑な実施と質の向上

1. 救急業務におけるメディカルコントロール体制のあり方（連絡会）

- 救急業務におけるMC体制のPDCAに関する検討
  - ・ PDCAの取組の推進や評価指標の充実等に向けた検討及び新型コロナウイルス感染症拡大下における救急搬送困難事案への対応に関する検討を踏まえ、MC体制の更なる充実に向けた参考として、他地域の取組事例等を取りまとめた。
- 救急救命士等の教育に関する検討
  - ・ 「実践経験を通じた教育」について、試行的実施及び検証を通じて運用に向けた検討を行うとともに、指導救命士に求められる役割等について検討し、当該教育の運用方法等について取りまとめた。

2. 蘇生ガイドライン改訂への対応（WG）

- 蘇生ガイドライン改訂への対応
  - ・ 「JRC蘇生ガイドライン2020」及び「救急蘇生法の指針2020(市民用)(医療従事者用)」の改訂に伴う一般市民や救急隊員が行う心肺蘇生法等への影響を検討し、応急手当の普及啓発活動、口頭指導、救急隊員の活動等へ反映すべき点について検討を行った。
- 応急手当の普及啓発の促進
  - ・ 上級救命講習へのファーストエイド項目の追加や、電子デバイスの更なる活用方法等について検討を行った。

3. ICT技術を活用した救急業務の高度化（連絡会）

- 救急業務における5Gを活用した映像伝送について
  - ・ 救急隊から医療機関へ映像を伝送することについて、4G・5Gに限らず有用であるという結果が得られたことから、今後、各消防本部において、映像伝送システムの地域の実情に合わせた導入を検討するに当たっての一助となることを期待されることを取りまとめた。
- 音声認識を活用した自動文字起こしについて
  - ・ 実証実験を通じて、現場で活動する救急隊員の会話内容やスピードなどを把握できた。今後、各消防本部において、当該技術を救急現場へ導入する検討を行う際の一助となることを期待されることを取りまとめた。

救急車の適正利用（適時・適切な利用）の推進

4. 救急安心センター事業（#7119）の全国展開に向けた検討（連絡会）

- 「事業導入・運営の手引き／マニュアル」の策定
  - ・ 未実施団体における円滑な事業導入及び事業実施団体における効果的な事業の運営・底上げ等を図るためのマニュアルを作成した。
- 「事業を外部委託する際に活用可能な標準的な仕様書（例）」の策定
  - ・ コールセンター業務を民間事業者等へ外部委託する際に必要な仕様書等について、モデルとなる様式を作成した。

その他（報告事項）

5. 救急業務に関するフォローアップ

- ・ 都道府県の担当部局とともに消防本部を実訪問し、現状及び課題の認識を共有、必要な助言を実施したほか、先進的な取組の把握を行った。